

なばりんく

6・7月号



しあわせ写真

☆国津小学校田植え

まちびと探し

今月の まちびとさん



ホットポイズン事務局
連絡先(0595-61-0775)

ながおか かつあき

長岡 克明さん(38) ホットポイズン事務局

ホットポイズンは、『自分たちが住む街を自分たちが住んで楽しい街にしたい』という想いで、若者に人気のBMX、スケートボード、ダンス、バンドといった「ストリート系カルチャー」の普及と、練習や表現の場所をつくることを目的に活動を行っている。若者にとって活動する場所が少なく、場所探しに苦勞していたり、一部の非常識な行動からの偏見で、活動が制限されている現状にある。こういった背景により、若者が自由に楽しみ活動できる場をつくるために、署名活動を行ったりしながら活動場所づくりを行ってきた。現在では、ストリート系カルチャーを通じた『交流の場』『市民の理解』『若者の表現の場』をつくることを目的にした「NABARIストリートフェスタ」を企画、運営している。同フェスタは、名張市をはじめ、市観光協会、商工会議所等にも協力を働きかけ、これまでに7回実施。若者が中心となり名張全体を活気づけ、参加した者全てが笑顔で楽しめるイベントとして、毎回約3,000人が参加するビッグイベントとして定着してきている。

また、同グループでは、2004年設立時より「プルタブ」収集を行っており、昨年には、今までに集まった800kgのプルタブを換金して「車いす」を購入し、市社会福祉協議会へ寄付される等、住みよい名張づくりのため、社会貢献も行っている。

同グループでの活動の7年間を振り返り、『活動場所をつくり、住んで楽しい街にしたい!』という原点の目標は現在も進行しており、今後も自分たちの手で名張市を盛り上げたい、と熱い思いを語ってくれた。

おまつちちょう

東日本大震災～大槌町被災地支援レポート～

名張市社会福祉協議会 地域福祉課 稲森恒次

テレビや新聞で被災地の状況が流れていることもあり、ある程度の想定をして被災地である岩手県大槌町に入りましたが、あまりの状況に言葉が出てきませんでした。大槌町の内陸部から沿岸部に移動するにつれ、あったはずの家屋が跡形もなく流されていたり原型のない車等、町全体が無くなっている状況に今回の震災の甚大さを目の当たりにしました。太平洋に面した人口約15,000人の小さな港町を襲った今回の震災では、津波が町全体をのみこみ約600人もの命を奪いました。また、現在も約1,000人が行方不明となっています。町の中心部の殆どが全壊したこの町では、今も多く人が避難所生活を送られています。

三重県社協では、被災地に対する支援活動として、3月22日より8日間を1クールとして3～4名が大槌町社協の『社協機能の再建』『災害ボランティアセンター運営支援』を中心に支援活動を行っています。名張市社協からも第6クール(4月17日～24日)のメンバーとして、活動に参加しました。

支援活動として、大槌町災害ボランティアセンターの『避難所ニーズ班』として避難所(32箇所)を廻り、生活状況や生活ニーズの把握を行い、外部から訪れるボランティアとのマッチングが円滑に行えるようにするための情報整理等を行いました。避難所と一言でいっても、十人程度の小さな所から数百人の大きな所まであり、必要な情報が十分に生活者に伝わらず支援の手が

十分に入っていない所もありました。避難所生活をされている方からは、「被災した時の話を聞いてもらいたい」「早く仮設住宅に移りたい」等の声を聴き、避難生活されている方の個々の関わりや心のケアの必要性を感じました。

完全復興には、長い年月と息の長い支援活動が必要となると考えられます。被災地からは遠く離れた名張の地でも長く支援できるように色々な活動支援が行えるように名張市社協(名張市災害ボランティア支援センター)から支援活動情報を随時発信していきます。引き続きご理解・ご協力をよろしくお願い致します。(3、4ページには、現地で撮影してきた写真を掲載しています。) ※社協：社会福祉協議会



チャリティー読み遊びライブ

平成23年5月8日(日)に、東日本大震災チャリティー読み遊びライブを開催し、79名の方が参加されました。

ブックドクターとして活躍している『朗天狗』(ほがらかてんぐ)のしんちゃんの読み聞かせが始まると、会場内には“笑顔”が溢れ、楽しい時間が過ぎていきました。また、4月に被災地に行かれた様子等もお話してください、現状を伝えてくれました。



寄付いただいた絵本については、しんちゃんと仲間たちが、再度被災地の子どもたちに絵本の読み聞かせに行く際に届けてくれます。



市民の皆さんからご寄付いただいた絵本の数

【1,454冊】

☆多数ご協力いただきありがとうございました。

おおつちちょう
岩手県大槌町現地レポート～写真で見る被災地状況～

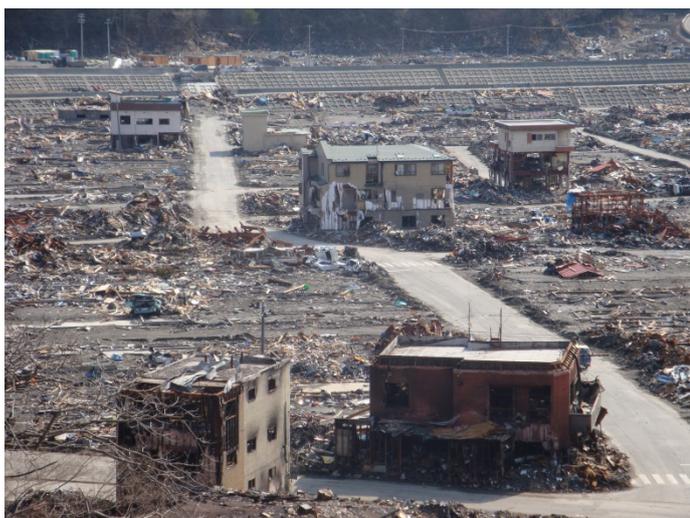
【大槌町役場】



【大槌町役場付近】



【大槌町中心街①】



【大槌町中心街②】



【家屋が流され基礎だけの家屋跡】



【家屋に流れ着いた車】



【大槌小学校】



【原型のない車】



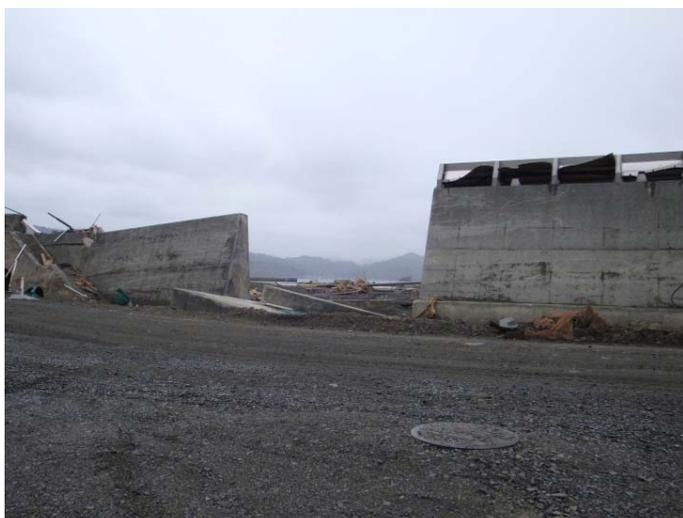
【大槌町を通る線路】



【民宿に座礁した客船はまゆり】



【決壊したスーパー堤防】



【被災地に咲く花】



トーク ボランティアリレーTalk!

みずのひでじ
水野秀治さん

サポートハウス“いこい”
メンバー



小生が“いこい”に参加して3年目になりますが、煮物、揚げ物、玉子焼き等多少お手伝いさせてもらっています。感心するのは、朝9時半に、その日の内容を見てメニューを決め、買い出し、調理をし、11時半には完成させるという事です。さすが主婦歴何十年のベテランチームです。調理時のトーク、食後のおしゃべりが楽しいチームワークの良い6人の月曜班です。

他に、伊賀・名張地区で、なつメロ・演歌専門バンドを結成し、ギター担当で老人ホーム・敬老会その他ライブを年に15回程実施しています。

今回はそのバンドリーダーでドラム担当の、ひまわり書店店主の富森諭さんを紹介します。

音楽工房

便り♪



♪雨降りお月さん～ シャラシャラシャンシャン～

今年も梅雨の時期がやって来ました。蒸し暑い日や雨の日もできるだけ気分良く過ごしたいものですね!雨の日のアジサイや菖蒲など美しく咲いている花を眺めていると、どんよりした心が明るくなることもありますね。

「雨降りお月さん」は、大正14年に童謡絵本「コドモノクニ」に発表されました。この時代には「雨降りお月さん」のように、明るい三拍子の曲は少なかったようです。子供にも大人にも親しめる歌です。この曲を作曲したのは野口雨情で、「七つの子」「赤い靴」「シャボン玉」など数多くの作品があります。

さて「雨降りお月さん」の歌詞に出てくる“シャラ シャラ シャン シャン”とは何の音だと思われますか?… 正解は鈴の音です。馬につけられた鈴の音…何だかきれいな響きだと思いませんか?

皆で童謡や昔の流行歌などを歌って、楽しいひとときを過ごしています。ご参加お待ちしております!!

6・7月の

“みんなでいっしょに
唄いませんか”

◆日時：6月21日(火)
10:30～11:30

◆日時：7月20日(水)
10:30～11:30

◆会場：名張市総合福祉センターふれあい
ふれあいホール

◆対象：名張市内在住の65歳以上の方

※参加費無料・申込み不要

☆地域開催

◆日時：6月10日(金)
13:30～14:30

◆会場：くにつふるさと館
(神屋814-4)

※対象者、参加費等同上



介護者サロン“さくら喫茶”を開催します!

平成23年7月より、毎月1回市内の各地域で開催していきます。

日頃、家族の介護をされている方、ちょっと一息つきませんか。

お茶をのみながら介護仲間と共にお話したり、少しボートしたり……。そんな時間も大切です!ほんのひと時の休息場所としてご利用ください。

介護のちょっとした合間、ほんの少しの時間でも大丈夫です。開催時間内の都合のいい時間にぜひお越しください!申込は不要です。

主催：名張市社会福祉協議会
協力：名張市家族介護者の会
「楓の会」

7月

開催日：7月13日(水)

開催時間：13:30～15:30

開催場所：名張公民館

参加費：100円

8月

開催日：8月10日(水)

開催時間：13:30～15:30

開催場所：蔵持公民館

参加費：100円

☆お茶、コーヒーや紅茶、お茶菓子等を用意してお待ちしています。

教えて！あなたの母国料理～サロンや地域の集まりで作ってませんか！

【CHATA MARRI】チャタマーリ (ネパールピザ)



母国ネパールの家庭料理です。ぜひお試しください。
おいしいですよ！

レシピ提供

MEERA SHRESTHA JALU
(ミラ シルシタ ジャル)さん



ランチやディナーでどうぞ！

材料(大きいフライパン1枚分)

生地

- ・小麦粉100g
- ・塩少々
- ・水160cc

具材

- ・卵1個
- ・タマネギ50g
- ・キャベツ50g
- ・鶏肉ミンチ50g
- ・ニラ2本
- ・塩少々
- ・味の素少々
- ・レッドペッパー(チリペッパー)少々

あれば

- ・ターメリック
- ・クミンシード

なければ

- ・しょうゆ3cc

サラダ油

作り方 ※ボールを2つ用意

☆下準備 タマネギ、キャベツをみじん切り、ニラは1cm位の長さに切っておく

- ①. ボールに小麦粉、塩、水を入れ混ぜ合わせる
- ②. 別のボールに卵、タマネギ、キャベツ、鶏肉ミンチ、ニラ、塩、味の素、レッドペッパー(チリペッパー)、ターメリックとクミンシード(なければしょうゆ)を入れて混ぜ合わせる
- ③. 中火にかけたフライパンにサラダ油を入れ、①の生地を丸い形に流し込み、その生地の上に②の材料も丸い形にのせ、ふたをして弱火で8～10分くらい蒸し焼きにする
- ④. 生地裏面に茶色く焼き色がいたらひっくり返し、ごく弱火で10～12秒焼いたら出来上がり！

♥大きなお皿に盛りつけ、お好みでポン酢やケチャップ等でお召し上がりください。

協力：ゆうあい日本語の会(同会は、主に外国人に対し日本語教室を開講し、学習指導を通じ国際交流と学習者の生活面での助言、手助けを行っているボランティアグループです。)

名張のむかしを歩もう！



【地域での思い出】

昔、平尾は平尾村といわれ、農家が主で50戸ほどの地区であった。昭和の時代となり鉄道布設の話が持ち上がり、松阪から延長の名松線、或いは伊賀参宮電鉄の二つの計画案があった。駅前の賛急屋の先祖、市橋芳三氏の努力で平尾を通す参宮電鉄に決定された。昭和5年鉄道が開通し、名張駅が誕生した。以来平尾は一変し、駅前には土産物店、料理旅館、タクシー会社、乗合自動車乗客待合所(写真)ができ、周辺には桜の植樹、また東側の広い空き地では、県主催の畜産共進会や木下サーカスの興業があった。ガードから東は観光地として開発され、私達は遊園地と呼んでいた。

平尾山の裾の噴水斜面に、多数の桜、料亭、旅館や様々な店が建ち、山のグラウンドで運動会や大関鏡里他力士一行の大相撲興行、唸り凧あげ大会などがあった。

昭和8年名張聖天が落慶され、盛大な法要行事があり、私も衣装を着せられ稚児行列に参加した。節分には参慶人で賑わい、法要後の豆まきに青鬼赤鬼が飛び出してきて、驚いた事を覚えている。

おきつもを語る会 奥田 善郎

協力：おきつもを語る会(同会は、名張の昔について、見聞や体験で得た習慣、行事などを座談会を通じて参加者と共に語り合い、資料にまとめ冊子にするなどして、多くの人に名張の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループです。)

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地

名張市総合福祉センターふれあい内

電話番号 63-1111

FAX番号 64-3349

ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>

Emailアドレス info@nabarishakyo.jp

発行部数：1,000部

《設置場所》

総合福祉センターふれあい、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、こども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近大高専、名張市役所、名張市立病院、総合体育館、協力店舗(いいの、吉野豆腐、大為陶器、はなびし庵、矢の五薬局夏見店、山平たばこ店、café*ujuk、booksアルデ、サロンきずな、やなせ宿)

※設置協力店舗募集中です！

次のなばりんくは8月1日発行予定です。